

目指す子供の姿

- 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
- コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①言語活動の充実

- ◇コミュニケーションの目的・場面・状況を明確に設定し，生徒が自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の充実を図る。
- ◇「言語活動→言語材料等の指導→言語活動」といった授業展開で，学習した語彙，表現などを繰り返し活用させながら学習事項の定着を図り，表現する力を高める。
- ◇言語材料等についての理解を深める練習は，言語活動を成立させるためには必要であるが，練習だけで終わることのないように留意する。
- ◇教科書等の学習内容と言語活動とを関連付けられるよう工夫する。

②4技能5領域（聞くこと，読むこと，話すこと【やり取り】，話すこと【発表】，書くこと）を関連付ける指導

- ◇領域間の統合的な授業展開（例えば，読んだものについて，感想や自分の考えなどを話したり書いたりするなど）になるよう工夫し，年間を通じて4技能をバランスよく育成する。
- ◇生徒が「できること」を実感できるように評価方法を工夫するとともに，小中高の連携を意識したCAN-DO型学習到達目標を設定し，生徒と目標を共有することを通して，指導と評価の一体化を図る。